

よなか ふしぎ わ
世の中には不思議で分かりづら
いことがたくさんあります。自然、
かがくれさし くわ せんせい と
科学、歴史など、詳しい先生に解き
あ 明かしてもらいましょう。

知りたい好奇心



©原ゆたか / ポプラ社

じっさい はい おもしろ ばい ぞう 実際入ると面白さ倍増 かわ あそ ちょうせん 川遊びに挑戦してみよう

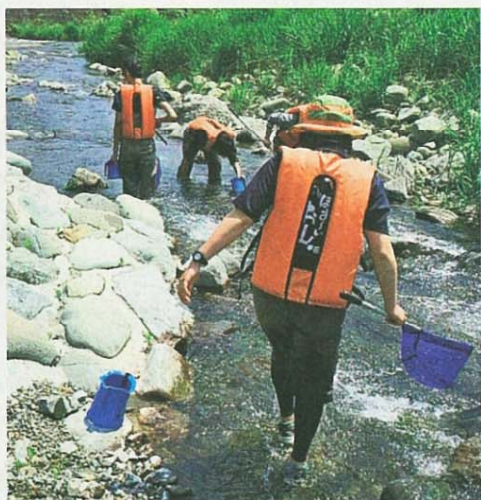
川は、それを土手の上から
見ているのと、実際に入って
みるのでは、面白さが全
く違います。思い切って川の
中に入ってみませんか。

底をガサガサ

初心者(しんしゆ)が、川で生き物(いきもの)を捕
まえたり観察(かんさつ)したりするに
は、左上(ひだりうへ)の写真(しやうしん)のようにあま
り深くない川(かわ)を探(たず)し、少し柄(えい)
の短いタモアミ(たもあみ)をもって、川
の底(そこ)をガサガサするのをお勧
めします。網(あみ)は生き物(いきもの)がその
下(した)を潜(ひそ)り抜(ぬ)けて逃(に)げないよう
に川底(かわぞこ)にしっかりとつくように
して、川の水(みづ)が流れ下(くだ)る方(ほう)
から上流(じやうりゆう)に向かって広(ひろ)げ、網
の口(くち)の近く(ちかく)の川底(かわぞこ)の石(いし)の下(した)
などを足(あし)でガサガサと動か(うご)かすの
です。

川の真ん中(まんなか)より、川岸(かわぎし)の草(くさ)
が水(みづ)に垂(た)れ下が(さが)っているよう
な所(ところ)の方が、流れ(ながれ)が穏(おだ)やかな
場合(ばあい)が多く、小さな子(こ)でも
も生き物(いきもの)を捕(と)まえられます。
また右下(みぎした)のイラスト(いらすと)にあるよ
うな、「のぞきメガネ(のぞきめがね)」を使(つか)う
と、川の中(なか)が驚(おどろ)くほどよく見
えます。

初め(はじめ)は、生き物(いきもの)を見つけた
り、捕(と)まえたりするのに夢(む)
中(ちゆう)になります。生き物(いきもの)を



準備(じゆんび)ができた(できた)ら川の(かわ)の中(なか)に！



河川財団(かえんざいたん)のホームページ(<http://www.kasen.or.jp/school/tabid67.html>)には、この冊子(ふし)の購(か)入(にゅう)方法(ほうほう)のほか、川遊び(かわあそび)についての情報(じゆうほう)がたくさん載(の)っています

捕(と)まえた場所(ばしよ)も、よく覚(おぼ)えて
おくようにすると、もったた
くさんの生き物(いきもの)を捕(と)まえられ
るようになるでしょう。釣(つ)り
人が、魚(いし)がいそうな場所(ばしよ)に
目(め)をつけるように、川(かわ)の中(なか)
の生き物(いきもの)がいそうな場所(ばしよ)を当(あ)て
られるようになってきて、さ
らに捕(と)まえた生き物(いきもの)の名前(なまえ)が
分かるようになってくると、
川遊び(かわあそび)がもっと楽(たの)しくなっ
てきます。

大人(おとな)と一緒に(いっしょに)

ところで、川遊び(かわあそび)に行く(い)く
ときには準備(じゆんび)も必要(ひつやう)です。写
真(しやうしん)のようにライフジャケット
をつけ、けがをしないように
簡単(かんぱん)には脱(だ)げない靴(くつ)を必ず
履(は)きましょう。また川(かわ)のこと
を知(し)っている大人(おとな)と一緒に(いっしょに)行
きましょう。川(かわ)はプール(プール)とは
違い(ちがひ)、急(いそ)に深(ふか)くなったり、
周り(まわり)と違(ちが)って流れ(ながれ)が速(はや)い場所

風(かぜ)間(ま)ふた(は)は)

なお、Yamanashi
みずネットでは専門家(せんもんか)と一緒(いっしょ)
に水辺(みづべ)観察(かんさつ)をする「水辺(みづべ)の探(たず)
検(けん)」を7月(しちがつ)30日(にち)に市川三郷(いちがわさんきやう)
・富士川防犯公園(ふじがわぼうはんこうえん)で計(けい)画(かく)して
り、参加者(さんかしゃ)募(も)集(じゆう)中(ちゆう)です。
詳細(しゆじゆ)は、Yamanashi
みずネットのホームページ
(<http://www.ymizunet.org>)
の「イベント・ニュース」
で紹介(しょうかい)しています。

(山梨大学総合研究部国際
流域環境研究センター教授
風間ふたは)



捕(と)まえた生き物(いきもの)の種類(しゆるい)や数(かず)を記録(きろく)したら、川
に戻(かへ)ります